


刈谷市	所属議員	伊藤幸弘、黒川智明、中嶋祥元、鈴木浩二、佐原充恭、深谷英貴
------------	------	-------------------------------

産業目線

【活動選定項目】	① カーボンニュートラル(CN)への対応							
具体的取り組み項目	① 刈谷市としての取り組み強化 ② R4年度当初予算に対する会派要望実現 (FCV等の購入補助、中小企業支援等・) ③ その他 (水素ステーション充実など)							
前回まで活動状況	・カーボンニュートラルへの対応に関わる5項目 2022年度当初予算に関わる市長要望書に記載 要望済(7月) ・6月、9月に市の環境計画(環境都市アクションプラン、エコアクション刈谷)を基に、市のCO2削減、エコカー補助などを一般質問(鈴木、伊藤) ・11月グループ研修として、高浜市トヨタL&Fで水素ステーション、水素リフトの取り組みを学ぶ							
今回 具体的活動 今回の進捗 【○】	<p>○12月刈谷知立環境組合議会(質問者 伊藤市議)</p> <p>関連 I. 刈谷市としての取り組み強化 4) 環境配慮契約推進</p> <p>刈谷市・知立市のゴミ処理センターでは、焼却時の熱を利用した発電を実施している。発電された電力はゴミ処理センターで利用しているが、余った電力は、電気事業者へ売電しており、公共施設で活用すれば、市のCO2削減に寄与できる。(市内での模範となる取り組みを進めるべき)</p> <p>回答：売電量の今後の見込みといたしましては、灰溶融炉の廃止に伴うクリーンセンターの使用電力の削減などにより、組合市内(刈谷・知立市)の小中学校が使用する総電力量と、ほぼ同規模の年間約1万5千メガワットアワー以上にしたいと考えております。</p> <p>クリーンセンターの第2期施設運営管理にかかる「基本計画」で、電力の地産地消の促進を位置付けていることから、いろいろな形で電力の供給が可能となるよう、売電収入を受託事業者から組合の帰属に変更することとしました。</p> <p>※ 6月議会、発電した電力をCO2削減に繋げる必要を指摘(鈴木)、12月議会で市のCO2削減に向けて効果的と考える施策は？との質問(伊藤)で、再エネ電力の活用を引き出す。</p> <p>※ 上記回答から、刈谷市・知立市の公共施設で発電した電力を活用し、CO2削減に繋げる準備をしていると判断。今後も早期に実現するようにフォローして行く。</p>	<p>【水素ステーション&リフト 研修】</p>  <p style="text-align: center;">*** 豊田自動織機にて***</p>						
◎…予定前倒し ○…予定通り △…遅れあり	<p>○12月福祉産業委員会所管質問(質問者 鈴木市議)</p> <p>関連 III その他 事業者向け、大型車、フォークリフトなどの購入補助</p> <p>※ トヨタL&Fの研修を受け、上記の事業者向けの、市としての支援を検討するように要望。中小企業が、脱炭素化に向け、何から取り組めばよい、と考えているか。を確認</p> <p>回答：一例を紹介すると、一般財団法人省エネルギーセンターでは、省エネ最適化診断を実施しており、工場等に専門家を派遣しCO2排出の現状把握を行うとともに、改善提案、フォローアップ等を行っております。中小企業にはこのような取り組みが有効。</p> <p>※ 啓発するだけでなく、事業者の背中を押すような補助制度など支援を検討すべき。今後具体的策と、投資に対する効果(CO2削減)などを示さないと、実現は難しい。</p>	<p>刈谷市施設のCO2排出量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度 (基準年度)</th> <th>令和2年度 (実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化炭素換算量 (Kg-CO2)</td> <td>17,977,662</td> <td>19,539,516</td> </tr> </tbody> </table> <p>目標：基準月-13% : 実績 +8.3%</p> <p>売電 15000000 kWh × 排出係数 0.37 kg/CO2 ↓ 刈谷市・知立市で 5,550,000kg-CO2 を削減可能</p>		平成26年度 (基準年度)	令和2年度 (実績)	二酸化炭素換算量 (Kg-CO2)	17,977,662	19,539,516
	平成26年度 (基準年度)	令和2年度 (実績)						
二酸化炭素換算量 (Kg-CO2)	17,977,662	19,539,516						
今後の活動	・刈谷知立環境組合(ごみ処理センター)での発電電力の余剰電力の刈谷・知立市の公共施設で利用できる仕組みを3月の一部事務組合の議会で確認。 ・市長への当初予算要望のCO2削減関係の6項目に対し、3月議会で予算化されたか、予算化プロセスの中でどう判断したかを質問(佐原市議) ・第2回のグループ研修(デンソー阿久比製作所、省エネショールーム) 3月、グループ全員							